

第 3 章

マレーシアの経済地理統計データ

熊谷 聡

キーワード：

マレーシア 経済 地理 データ

1. 地理的区分

マレーシアの行政区画は、第 1 レベルで 16 (13 州 + 3 連邦直轄領) に分割される。これらは、第 2 レベルで、137 郡 (administrative district) に分割される (表 1)。

表 1 マレーシアの行政区画一覧 (2010 年)

州名 (State)	人口(万人)	郡 (administrative district) の数
Johor	335	8
Kedah	195	11
Kelantan	154	10
Malacca	82	3
Negeri Sembilan	102	7
Pahang	150	11
Penang	156	5
Perak	235	9
Perlis	23	1
Selangor	546	9
Terengganu	104	7
Sabah	321	24
Sarawak	247	29
Kuala Lumpur (F.T.)	167	1

Labuan (F.T.)	9	1
Putrajaya (F.T.)	7	1
合計	2833	137

(出所) Basic Population Characteristics by Administrative Districts, 2010

(注) F.T.は連邦直轄領

2000 年以降、州レベルでの変更は、Selangor 州から Putra Jaya 連邦直轄領が独立した。郡レベルでは、新たに 7 郡が独立した¹。

本研究会で作成するデータセットでは、Kuala Lumpur 連邦直轄領は人口が 167 万人と大きいため、州と同様に扱う。一方、Putra Jaya 連邦直轄領と Labuan 連邦直轄領はそれぞれ人口が 9 万人、7 万人であり、面積も小さい。したがって、当面 Putra Jaya は Selangor 州に、Labuan は Sabah 州と統合して扱う。したがって、本データセットでは、マレーシアは 13 州+KL の合計 14 地域となる。

2. 産業分類

マレーシアの産業分類は、Malaysia Standard Industrial Classification (MSIC) として定められている。MSIC の直近の改定は 2008 年である (MSIC 2008)。MSIC 2008 は 5 桁レベルまで定められており、ISIC rev4 と 4 桁レベルまで整合性がある。MSIC の前回の改定は 2000 年に定められた MSIC 2000 で、原則として ISIC rev3 に 3 桁レベルまで準拠している。

3. 人口センサス

マレーシアでは”Population and Housing Census”が 10 年ごとに実施されている。2000 年代に入ってから、2000 年、2010 年に実施されている。また、2015 年に

¹ Putrajaya 郡が Sepang 郡から独立 (Selangor 州、2001 年)、Pakan 郡が Jalau 郡から独立 (Sarawak 州、2002 年)、Selamgau 郡が Sibu 郡から独立 (Sarawak 州、2002 年)、Kulaijaya 郡が Johor Baharu 郡から独立 (Johor 州、2008 年)、Ledang 郡が Muar 郡から独立 (Johor 州、2008 年)、Pokok Sena 郡が Kota Setar 郡から独立 (Kedah 州、2008 年)、Kampar 郡が Kinta 郡から独立 (Perak 州、2009 年)

は”Inter-Census Survey”が初めて実施されることになっている。

センサスの実施から集計結果の好評までには、通常数年を要する。集計結果を掲載した”Economic Characteristics of the Population”では、職種や業種、就業形態について知ることが出来る。また、人口の地理的分布を、郡レベルや、さらに下位のレベルで知ることができる。

マレーシアの州別・郡別人口は、マレーシア統計局（Department of Statistics, Malaysia）の Population Quick Info から入手できる。

(http://www.statistics.gov.my/portal/index.php?option=com_wrapper&view=wrapper&Itemid=129&lang=en)

4．地域別・産業別 GDP 入手可能性

4.1 国レベル

マレーシアの GDP は、国レベルでは、以下のような産業部門別で発表されている。

表2 マレーシアの National Level での産業別 GDP の分類

Agriculture	Mining and Quarrying
Construction	Electricity
Gas and Water	Wholesale and Retail Trade
Accommodation and Restaurant	Transport and Storage
Communication	Finance and Insurance
Real Estates and Business Services	Government Services, Other Services

（出所）Department of Statistics Malaysia ウェブサイト

また、別途”Value Added by Manufacturing Industries”が発表されており、これを用いることで製造業を以下の 19 部門に分割することが出来る。

表3 マレーシアの National Level での製造業付加価値の分類

Processing of estate-type agricultural products in factories off estates	Food
Beverages	Tobacco products
Textiles Footwear (except rubber	Wood products

footwear), other wearing apparel and made-up textile goods	
Furniture and fixtures	Printing, publishing and allied industries
Paper and paper products Leather and leather products	Rubber products
Chemicals and chemical products	Products of petroleum and coal
Non-metallic mineral products	Basic metal industries
Metal products	Machinery except electrical machinery
Electrical machinery and Electronics	Transport equipment
Miscellaneous manufacturing industries	

(出所) Department of Statistics Malaysia ウェブサイト

表2と表3の分類を組み合わせることで、国レベルでGDPを30部門に分割することが可能である。

4.2. 州レベル

マレーシアの州別GDPは、直近で、2010年時点までマレーシア統計局より発表されている。州別GDPは、Agriculture, Mining & Quarrying, Construction, Manufacturing, Servicesの6部門に分割されて公表されている。また、別途、“Annual Survey of Manufacturing Industries (ASMI)”を州別で入手することが出来る。ASMIはMSIC5桁レベルとなっている。州別GDPとASMIを組み合わせることで、州別GDPについてより細かい産業分類に按分できる。ただし、ASMIを個票レベルで入手することは、マレーシア政府が公開に慎重であることから困難である。

5. 経済地理データ作成の手順と課題

本研究会のデータセットでは、マレーシアは州レベルでのデータを作成する。したがって、ベースとなるのは統計局から発表されている州別GDPである。この段階で6部門に分割されている、製造業については、ASMIを用いて按分し、部門分割することになる。

州別・産業別のASMIからは企業数、生産額 (Value of Gross Output)、付加価値

額 (Value Added)、雇用者数 (Total Employment) が分かる。ASMI の場合、州別・産業別 (MSIC5 桁レベル) の集計値で、付加価値額が負になっているものは全体の 1%以下である。したがって、付加価値額を部門分割に用いても問題は小さいと考えられるが、安定性の面からは生産額の使用が望ましいかも知れない。

6. 関連統計ソース

Department of Statistics, Malaysia, *Annual Survey of Manufacturing Industries*, 各年版。

マレーシア統計局ホームページ

(<http://www.statistics.gov.my/portal/index.php?lang=en>, 2012 年 2 月 23 日アクセス)

マレーシア中央銀行ホームページ (<http://www.bnm.gov.my/index.php?ch=12>, 2012 年 2 月 23 日アクセス)